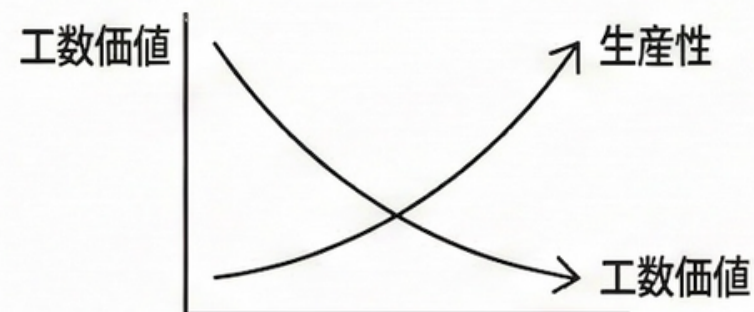


# 脱属人化と生成AIによるリソース最適化の実践ロードマップ

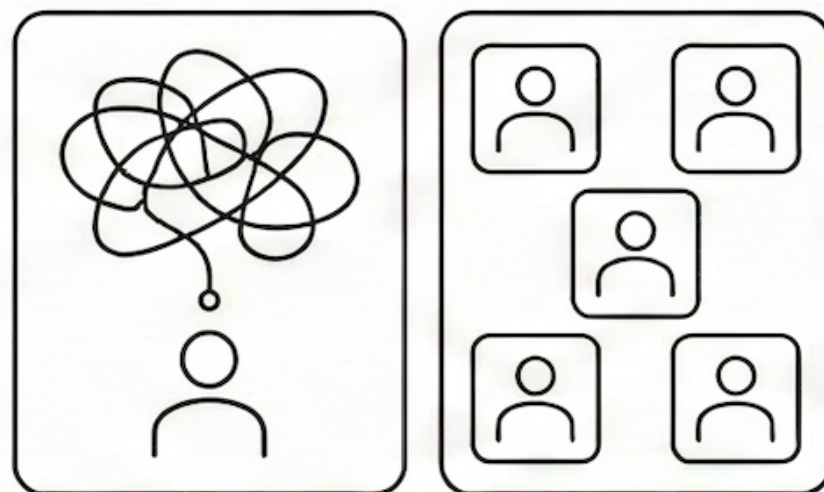
## 迫り来る「構造的危機」



### 役割と構造の転換

生成AIによる生産性向上とデフレ圧力から、エンジニアの価値は**実装**から、AIを指揮し品質を保証するオーケストレーター（**頭脳**）へシフト

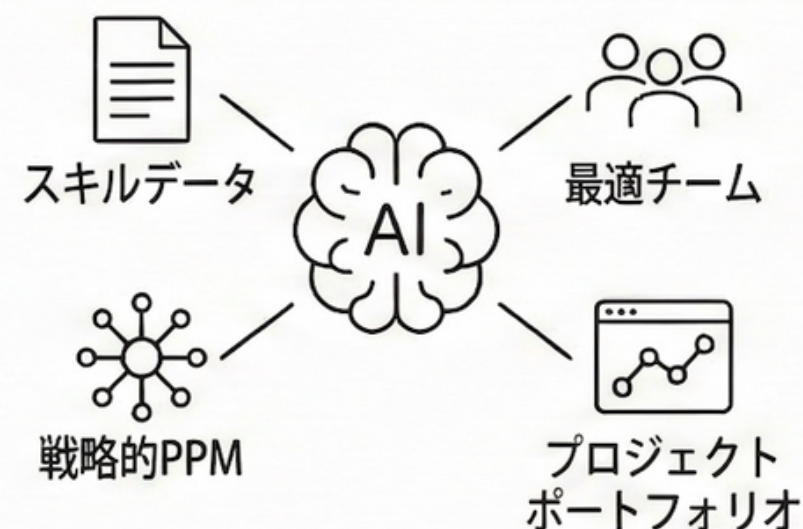
## 稼働最適化の阻害要因



### 脱属人化・脱サイロ化

「経験と勘」の属人依存が品質低下の主因となることに加えて、部門間のリソース調整機能不全で、全社レベルで不均衡と機会損失が発生する

## AIドリブンリソース管理

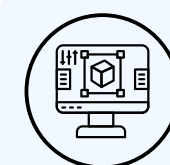


### AIによる稼働最適化

スキルインベントリや実務口グを整備し、AIが変数（スキル、キャリア意欲等）を考慮し、成功確率を最大化するチーム編成を動的に提案

## 実践ロードマップ

### 変革への4ステップ



#### 可視化

0～6ヶ月

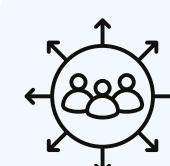
スキル&リソース管理システムを導入し、実務データの連携開始



#### 試験運用

6～12ヶ月

特定案件でのAIマッチングと成果型契約の試行



#### 全社展開

12ヶ月～

部門の壁を撤廃した全社リソースプールの制度化



#### 進化

失敗・成功事例をAIにフィードバックし、見積もり精度を継続改善

# 成果型モデルへの分水嶺はスキル&リソースマネジメント 属人から脱却しデータで組織を拡張する企業が時代を制する